大塚だより

大田区立調布大塚小学校
校長　玉野　麻衣

未来をつくる4つのルール

副校長 戸村 隆之

7月8日（土）に行われた学校運営協議会で、1 学期末に児童に配布した「イノベーションシート」について話題になりました。児童が学期始めに、3つのコンピテンシー（「新たな価値を創造する力」「対立やジレンマに対処する力」「責任ある行動をとる力」）について、意識して行動したいことを選んで記入し、月ごとに自分の行動を振り返り記入していくものです。1 学期末には、担任からのコメントが入り、各家庭に配布してご覧いただけたことと思います。参加した学校運営協議会委員の方から、次のような意見が挙がりました。

・本校独自のこの取組に驚きました。このような視点を学校で指導してくれると親としてとても助かります。学校だけでなく、家庭でもこのような視点を意識して接していくとさらに効果的だと思います。

・このような力は小学校だけでなく、中学校や社会に出てからも役に立つと思います。子どもたちのコミュニケーション能力の育成にもつながると思います。

最近読んだ「激変する世界で君だけの未来をつくる4つのルール」（尾原和啓 著）の中で、これからの社会を生き抜くための新しいルールとして以下の4つが紹介されています。

1 GIVE 与える人になろう　　2 OPINION 自分の意見を育てよう

3 PARTY 頼り頼られる仲間をつくろう　　4 DIVERSITY ちがいを楽しもう

読んでいると本校のイノベーションシートで取り上げているものとの共通点がたくさんありました。この本でもこれからの時代、生き方や働き方の「正解」がなくなり、自己を柔軟に変化する力が求められることが書かれています。子どもたちが学校での活動で、常に変化する時代に対応できる力を育めるようにしていきたいです。子どもたちへ語りかけるように書かれているので、子どもたちにも是非読んでほしい一冊です。

１０月の生活目標

「ものを大切にしよう」

〇普段自分が使っている学習用具や学校で借りたものを大切に使っていますか。ものを大切に使うことは自分や友達を大切にすることにもつながります。この期間にものを大切にしているかふり返ってみましょう。

１０月の保健目標

「目を大切にしましょう」

〇２学期にも視力検査を行います。めがねを持っている児童は忘れないようにしましょう。
授業中タブレットを使う際は、姿勢に気を付け画面と目の距離を意識しましょう。

４年生より

４年担任

１学期は、自分の学んだこと、考えたことをノートや新聞、ポップ等に表現する活動を中心に学習を進めました。子どもたちは、授業での話し合いや調べ学習、ゲストティーチャーの講話などから知識を付け、考えを広げていきました。作った新聞を見合う活動では、友達の表現のよさを称賛し、自分にも取り入れていこうとする姿も多く見られました。２学期は、総合の学習を中心に、調べたことをまとめ、他者に伝える（発表する）活動が多くなります。自分の知識や思い、考えをより分かりやすく相手に伝えるためにはどうすればいいか、個やグループで試行錯誤したり友達と見合ったりする中で学んでいきます。また、社会科見学、連合音楽会など、校外に出ての活動も多くあります。１学期よりも活動の幅を広げ、様々な経験、体験を積み重ねながら、一人一人にとって充実した２学期にしてほしいと思います。

保健室より

養護教諭

１０月１０日は目の愛護デーです。

「利き手」があるように、目にも「利き目」があるのを知っていますか？

～利き目を調べてみてください（より見えやすいほうの目が利き目です）～

① 両手を前に伸ばして三角形を作ります。

② 両目を開けた状態で、三角形の中心を時計など遠くにある対象に合わせます。

③ 片目を閉じて、対象が三角形の中央に見えたら開いている目が利き目です。見えないときは、閉じている目が利きです。

「利き目」は無意識に使いすぎてしまい疲れやすいです。目を休めてリフレッシュし、偏りを減らしてください。

運動会の見どころ

運動会委員長

運動会が間近に迫り、各学年が体育館から校庭に練習場を移し、本番での立ち位置や距離感を確かめながら練習を進めています。今年度は全学年、短距離走と表現を行います。体育授業で学んだ動きを基に、学年に応じた距離を走り抜けたり、表現したり、伝統的な民舞に挑戦したりします。各学年がそれぞれにこれまでの学習の成果を発揮してくれるはずです。また、今年度は応援団、高学年（４～６年生）による選抜リレー、縦割り班競技も行います。そして、運動会当日は全学年児童、保護者、地域の方が一緒に校庭で観覧します。数年間、分散やリモートでの観覧が続きましたが、今年度は、たくさんの声援の中で、子どもたち一人一人が最大限に力を発揮してほしいです。他の学年の演技を見たり、ともに活動したりする中で、子どもたちにとって自他を称え、互いに絆を深め合えるような、素敵な行事になることを願っています。運動会が、子どもたちにとってよい思い出、成長の場となるよう、引き続きご協力お願いします。